

令和5年度2学期 学校教育に関するアンケート集計

【保護者アンケート集計】

2学期末に行った「学校教育に関するアンケート」の集計結果をお知らせいたします。2学期も、学校教育へのご理解・ご支援・ご協力、誠にありがとうございました。3学期も課題解決に向けて、また学校教育活動の充実に向けて、職員一丸となって取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

		4 : 十分できている 2 : あまりできていない	3 : おおむねできている 1 : 全くできていない	1 学期 評価	2 学期 評価
1	学校は、校長の学校経営方針、担任の学級経営方針を保護者や地域に伝えることに努めている。			3.5	3.5
2	学校は、目指す子どもの姿(「考える」・「思いやる」・「がんばる」)に向かって具体的な方策をもって努力している。			3.3	3.3
3	子どもたちは、楽しく生き生きと学校生活を送っている。			3.4	<u>3.0</u>
4	学校は、いじめや不登校などの生徒指導上の課題解決に向けて積極的に取り組んでいる。			3.3	<u>2.9</u>
5	学校は、子どもたちの安全(登下校時・自然災害時)について細心の注意を払っている。			3.6	<u>3.4</u>
6	教職員は子どもや保護者、地域との望ましい関係を築いている。			3.3	3.3
7	学校は、常に整理整頓、清掃され、花や緑に囲まれた美しい学校づくりに努めている。			3.3	3.4
8	学校は、安全維持管理のために、施設・設備の定期的な点検と改善に努めている。			3.3	3.3
9	学校は、日頃から子どもたちの学力や体力の向上を目指したり、実態を保護者や地域に知らせたりしている。			3.3	3.3
10	学校はつとめて鹿浦のよさを生かした教育活動を展開している。			3.3	3.3
11	保護者や地域は学校の教育活動を理解し、協力体制をとっている。			<u>2.9</u>	3.2
12	子どもたちは、地域や学校で進んで挨拶をしている。			<u>2.8</u>	<u>2.9</u>
13	子どもたちは、地域の行事等に積極的に参加している。			<u>2.8</u>	<u>2.8</u>

【学校教育改善のための意見や提案】

〔学校の対応に関すること〕

- 子供たちが明るいのはよいことですが、騒いで帰る子がいるので注意してください。
→ 登下校については安全指導も踏まえて日常的に指導しますが、家庭や地域でも見守っていただけるとありがたいです。
- いじめは子供の命に関わる問題。ぜひ職員全体で情報を共有するべきだと思います。子供が相談したのにさらに困っている、状況が悪くなっていた、では子供は誰に助けを求めたらよいのかわからないと思います。個性を認め合える、そんな子供たちに育ててほしいです。
→ いじめへの対応については、右ページをご参照ください。

- 交流学习のおかげで同学年のお友達だと意識してみたり、少し声をかけてみたりと変化があるように思います。伊仙中校区だと、伊仙小のお友達と学ぶことになるので伊仙小との交流もできればいいなと思います。
- **伊仙小と連携をとって、次年度の教育課程において工夫をしていきます。**
- コロナが5類に移行して、今まで自粛していたことが動き出して、楽しくてうれしく思っています。感染対策を考慮しながら苦慮することも多いかと思いますができる限りいろいろな場面で参加していけたらと思っています。
- いつもありがとうございます。
- 校長先生からの挑戦状はこれからも続けてほしいです。

〔PTA 活動・地域行事等に関するご意見〕

- 「とよみ」の舞台発表等は保護者が積極的に参加していくべきかと・・・。
- 運動会前の緑門づくり、準備は文書も出ていたためPTAの参加もよいが、8月のクリーン作戦は地域の方が多いいのはなぜ？と地域の方から不満が出ていた。PTAの参加が少ないうえにあれほど学校周りが汚れている（草刈りされていない）のは初めてだと。8月のバーベキュー翌日という日程やクリーン作戦という点は来年は工夫すべきでは？
- **PTA 活動や地域行事に関するご意見については、3月のPTA 役員会、PTA 総会で検討してみたいかがでしょうか。**

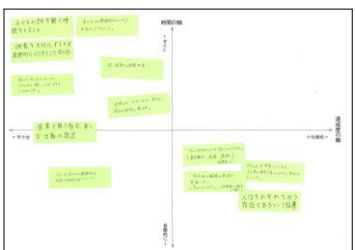
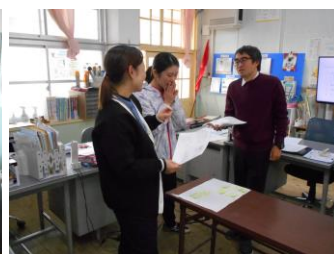
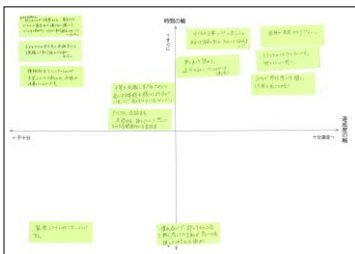
学校の取組 ～いじめ問題について～

いただいたご意見を踏まえ、改めて本校の課題を洗い出しながら対応策を検討しました。

写真のようにワークショップ型で協議をしました。教諭だけでなく様々な立場から意見を出し合うことで、学校としての取組を検討することができました。あとは実践あるのみです。

検討した内容を以下に整理します。

- これまで以上に子供が「話したい」と思える雰囲気づくりに努めます。これは、担任に限らず本校職員全員で対応します。また、子供とのコミュニケーションは積極的にとっていきます。
- 教師があれこれ口出しするのではなく、子供の思いを聞くことを大事にします。さらに、子供自身にも問いながら自律的な解決ができるようにしていきます。
- 迅速な情報共有に努め、組織的に解決していきます。
- 学級・学校では「失敗してもいいよ」という雰囲気を更につくり、心理的安全性が保たれるようにしていきます。



ワークショップ型職員会議の様子

現在までに取り組んできたことや不十分だった取組等を出し合い「すぐに取り組むべきこと」(左上)、「長期的に取り組むこと」(左下)、継続して取り組むこと(右側)に分類していきました。今後もお気づきのことがございましたら学校の方へご連絡くださればと思います。